井野団地・井野地域のみなさんへ

日本共産党

加増みつ子

団地外周 ひび割れ 凸凹 振動

車歩道の早期整備で安全な道路に

建設50年 老朽道路の痛み深刻

建設後50年以上経過した井野団地外周道路は痛みが激しく、取手市は、振動対策、車歩道・側溝整備など2018年度から3か年計画で進めています。2020年度工事着工予定が、2019年度の詳細設計の遅れで、工事は予定通りには進んでいません。

加増みつ子議員は、昨年12月議会建設経済常任委員会で遅れの原因と今後の予定を質し、早期整備を求めました。

井野公民館前通り

整備が急がれる、ひび割れた車道とL字型の側溝
＝井野集会所前通り

井野集会所交差点

旧井野小正門前

八重洲団地バス停通り

側溝は排水能力拡大へ

軟弱区域から改良

市は団地外周道路の全長は2キロメートルあり、「振動や路面のひび割れの改善に、路床の下から調査が必要なことから時間がかかる」とし、「住宅が張り付いているところ、地盤の弱いところから整備する」としています。

また、現在のＬ型側溝からＵ型側溝へ流末から改良を進める計画です。

大型開発中心の税金の使い方を改め

生活基盤整備 優先に

市は、整備まで５年以上もかかるとしていますが、そんなに待っていられません。ここまで道路が傷むまで整備を遅らせた責任は、取手市にあります。

加増みつ子市議は、大型開発中心の税金の使い方を改め、生活・通学道路の整備優先、井野団地外周道路の早期整備を求めています。

明るい取手
2020年1月号外　日本共産党取手市委員会
日本共産党取手市委員会の見解を紹介します。
302-0011 茨城県取手市井野3-19-5　☎ 0297-72-7816　Fax 72-7817
https://toride-jcp.com